

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
データベース演習 Exercise of Database		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(上級ビジネス実務士必修、 上級情報処理士必修)	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
コンピュータリテラシーⅠ・Ⅱ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
データベース論				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小林大輔	講義棟 1F	火曜～金曜 (授業、会議時間以外)		授業中に指示します
授業の概要				
データベース論で修得する理論を実践的に活用するために、演習を通じてデータベースを実際に作成することによってその理解を深める事を目的とする。基本的な単一のデータベースからリレーショナルデータベースの仕組みまでを学ぶ。				
授業の目標				
①Microsoft Access2010の基本操作を習得することができるようにする。 ②データベースの設計、構築の方法を習得することができるようにする。 ③データ分析の手法を習得することができるようにする。				
授業の方法				
①重要なポイントの解説を加えながら、実践における個人の活用能力を身に付けるため教科書に沿って自学自習形式で進める。 ②教科書の説明で不足する部分は、別途資料を配布し補足する。 ③理解度を確認するための課題を課す。				
学習の成果(学習成果)				
データベースのしくみを説明、データベースの設計・構築の方法を説明することができ、データベースを顧客管理・在庫管理・売上管理等に応用することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス			
第2回目	第1章：Accessの基礎知識			
第3回目	第2章：データベースの設計と作成			
第4回目	第3章：テーブルによるデータの格納1			
第5回目	第3章：テーブルによるデータの格納2			
第6回目	第4章：リレーションシップの作成 第5章：クエリによるデータの加工1			

第7回目	第5章：クエリによるデータの加工2		
第8回目	第6章：フォームによるデータの入力1		
第9回目	第6章：フォームによるデータの入力2		
第10回目	第7章：クエリによるデータの抽出と集計		
第11回目	第8章：レポートによるデータの印刷		
第12回目	第9章：便利な機能		
第13回目	総合問題1		
第14回目	最終課題1		
第15回目	最終課題2 課題提出		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度			加点はしないが、受講態度が著しく悪い場合は減点し、場合によっては退室してもらう。
レポート	100%		教科書の練習問題(40)、教科書の総合問題(20)、授業で配布する最終課題(40)で採点する(カッコ内は配点)。各採点で満点となる条件は授業で説明する。
調査報告書			
小テスト			
試験			
発表内容(態度含む)			
その他			無断欠席は1回につき5点減点する。理由のない遅刻2回で1回の無断欠席として減点する
教科書と参考図書			
教科書：「よくわかるMicrosoft Access 2010 基礎」 FOM出版			
履修上の留意点・ルール			
演習中の私語や、演習以外のPCの利用は慎むこと。			